

下顎総義歯吸着のテクニックの臨床（後編）

東京都開業
阿部二郎

前編では、枠なしトレーを使った誰にでも同じ大きさに採れるスナップ印象について解説しました。後編では蠟堤付き各個トレーを使った精密印象から義歯の装着までを紹介していきます。

精密印象における義歯床縁の厚みの変化

スナップ印象では義歯床縁の長さを決めました。そして今回、蠟堤付き各個トレーを使って精密印象をし、義歯床縁の厚みを作り上げます。特に舌側部では前方（舌下ヒ

ダ部）が厚く、後方（後顎舌骨筋窩部）では薄くなることにご注意ください。義歯床縁全周における各部位の厚みの変化は下顎総義歯の吸着にとって大変重要なポイントで

す。まず、はじめに各ステップによる義歯床縁の厚みの違いをご覧頂き、次ページより臨床の手順を述べていきます。

オストロンⅡによる
蠟堤付各個トレー



義歯床の長さを決めるのが目的なので、蠟堤付き各個トレーの辺縁は薄くてよい。

ソフトライナーによる
概形印象
(粉：液比=10：7)



義歯床縁の長さにおおよその厚みが加わった。

エクザデンチャーによる
最終精密印象



精密な厚みと下顎総義歯の形態の決定。

S状カーブの変曲点

厚い

薄い

6. 咬合採得と上顎精密印象

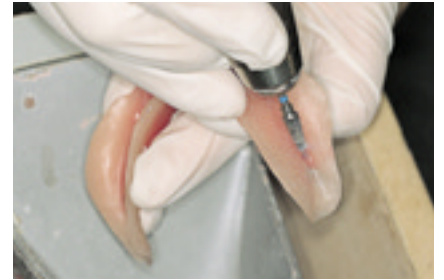
口腔内で咬合採得を行い、フィットチェッカーで試適し、アタリを除去した後に精密印象を始めます。スナップ印象では義歯床の長さを決めますが、精密印象では吸着に必要な辺縁部の厚みを機能運動の中で作り上げます。また、下顎は閉口印象ですが、上顎は開口無圧印象です。必ず上顎から精密印象を行ってください。



6・1 安静位空隙利用法あるいはAir blow法で咬合高径を計測します。



6・2 上下各個トレーの試適をします。



6・3 バーでアタリを削合除去します。



6・4 上顎蠟堤咬合面にワセリンを塗ります。



6・5 蠟堤に付与した4点の突起を軟化させ、咬合採得を行います。蠟堤を製作する時点でこの突起は通常の高径より軟化する分の2.0mm高く作ってあります。



6・6 咬合採得の完了。スナップ印象から作り上げた各個トレーの顎堤に対する適合は充分ではありません。印象後のワックスデンチャーの試適時に再度チェックする必要があります。



6・7 上顎各個トレーにイソコンパウンドを盛り辺縁形成を行います。



6・8 上顎精密印象は余分な印象材を排除した後、開口させて硬化を待つ無圧印象です(イソコンパウンドとエクザミックスファイン インジェクションタイプ)。



6・9 上顎印象の完成です。つづいて下顎精密印象に移ります。

7. 下顎精密印象

患者さんに5種類の動きをしてもらう閉口印象です。術者が患者さんの口腔に触れ、印象を意図的に作り上げる方法と異なるため、どの歯科医師が行っても同じように採れます。臨床経験の差が出にくい方法です。概形印象として機能印象材ソフトライナーを、最終精密印象(Wash Impression)としてエクザデンチャーを使用します¹⁾。



7
・
1
ソフトライナー。



7
・
2
ソフトライナーの粉:液比を10:7にしてください。液をやや少な目にして材料に腰を持たせるのがコツです。トロッと流れるようでは柔らかすぎます。



7
・
3
各個トレーにソフトライナーを盛り上げた後、軽く40℃のお湯にさっと漬け、べたつきを除き口腔内に挿入します。

印象時の5つの動作

閉口印象時の5種類の動きをしてもらいます。それぞれに意味があります。



7
・
4
①口を尖らす。



7
・
5
②イーッをする。



7
・
6
③上唇をなめる(このときトレーが浮き上がらないように図の手つきでトレーを押しえます)。



7
・
7
④舌で前歯部顎堤の裏を押す(S状カーブが印象されます)。



7
・
8
⑤嚥下後、軽く閉口させたまま3分間硬化を待ちます。



7
・
9
ソフトライナーによる概形印象(硬化したソフトライナーに直接石膏を注ぐ際の面荒れを防ぐためと、印象精度を上げるためにシリコンによる精密印象を行います)。



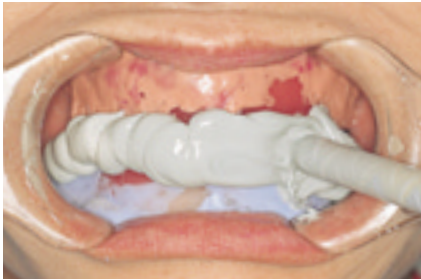
7
・
10
エクザデンチャーを盛り、再び閉口印象の5つの動作を行います。



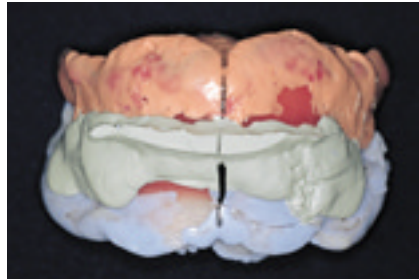
7
・
11
エクザデンチャー硬化後、口腔外へ取り出して印象終了です。ソフトライナーはアルコール成分が多く、時間が経つと変形するので石膏を1時間以内についでください。

8. ワックスデンチャーの完成と試適

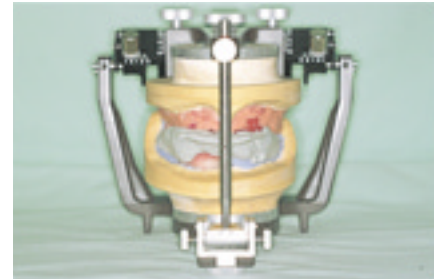
精密印象に石膏を注ぎ咬合器にマウンティングします。そして、試適用のワックスデンチャーを作製します。人工歯が並んでいない蠟堤での審美修正は実に難しいものです。ですから、蠟堤付き各個トレーの咬合採得時に前歯部のワックスはほとんど触れず、無歯顎者の平均的位置を参考に人工歯の仮配列を行い、試適し人工歯の位置を修正します。人工歯が並ぶことで患者さんの要求する歯列が見えてくるばかりでなく、修正時の審美感覚レベルも向上します。また、対顎関係によって片側性平衡咬合、両側性平衡咬合が成立しにくい場合があります。必ず転覆試験を行ってください。



8・1 印象面をチェックして問題がなければ咬合関係を硬くしっかりしたバイト材(エクザハイフレックストレタイプ)で固定します。バイト材で固定すると口唇線が印記されます。



8・2 正中線を油性のペンで記入し、技工操作に移ります。



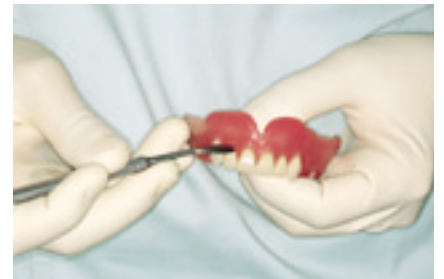
8・3 ユーティリティーワックスでボクシング後、超硬石膏を注ぎ、上下模型を別々に完成させた後、バイトブロックをもどし咬合器にマウンティングします。



8・4 仮配列を行います。中切歯切縁の前後的位置:切歯乳頭中央から前方約9mm、上下的位置:歯肉頬移行部から22mmの位置に仮配列します(深水、堤ら²⁾)。



8・5 試適用のワックスデンチャー正面観(ジーシーサーパス使用)。上下顎左右6に適当に咬み合う人工歯を置き、蠟義歯試適の咬合チェックの目安にします。



8・6 審美修正をその場で行います。



8・7 片側性平衡咬合の獲得:大きな食塊を咀嚼することを想定してシリコーンを咬ませます(転覆するようであれば上下顎人工歯配列位置の修正が必要です)。



8・8 両側性平衡咬合の獲得:小さな食塊を咀嚼することを想定してシリコーンを咬ませます。両側性平衡咬合を獲得することで咀嚼時の義歯の揺れを少なくします。



8・9 ワックスデンチャーの正面観。

9. 下顎総義歯の完成と装着

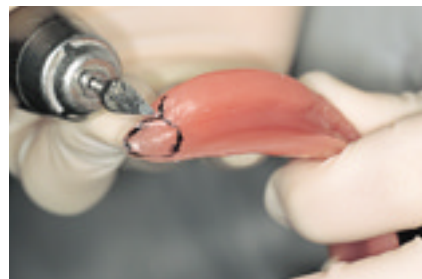
重合後は必ずリマウントし、咬合器上で咬合調整を行います。それでセットできるわけではありません。レトロモラーパッド部の頬側の付け根にあるスジを避けます。このスジは顎堤形態が悪くなり機能障害の程度が悪化すればするほど不明瞭になり避ける必要が無くなります。また、市販されているリングライズドオクルージョン用の人工歯は上下頬側咬頭の距離が大きいため雑食な日本人の食生活に合いません。今回はジーシー サーパスを修正削合して上下頬側咬頭の距離を小さくした1対1歯の咬合関係を作り上げました。



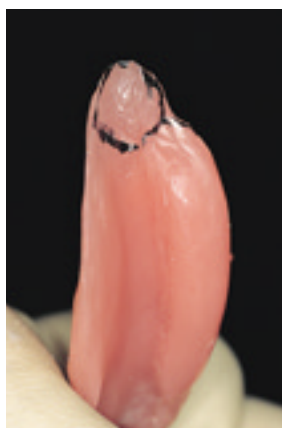
9・1
レトロモラーパッドの内面にフィットチェッカーを盛り、嚥下運動をさせます。



9・2
義歯を口腔外へ取り出しレトロモラーパッドの形通りに油性ペンで描きます。



9・3
カーバイトバーなどでレトロモラーパッドの形態に合わせて義歯を削合すると自動的にスジが避けられます。



9・4
削合後。



9・5
スジを避ける前の義歯。臼歯部は歯槽頂よりやや外側に位置する顎堤の幅の中央に配列してあります。



9・6
スジを避けた後の義歯。



9・7
咬合調整後の右側方運動。

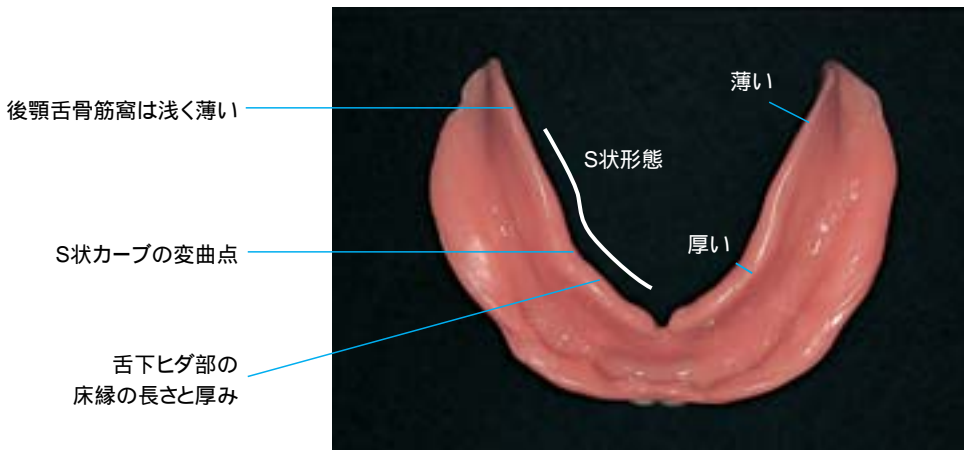


9・8
咬合調整後の咬頭嵌合位・正面観。



9・9
咬合調整後の左側方運動。

10. 吸着する下顎総義歯の特長



終わりに

わずかな咬合採得のずれや咬合調整の不備が義歯の吸着を破壊します。特に顎堤が著しく不良で咬み合わせが不安定な患者さんについては一度で作るうとせず、今回紹介した義歯の作製方法で作った義歯を治

療義歯として用い、下顎位の安定したポジションが決まった後に再度作製した方が患者さんにとって親切な治療となります。

今回紹介する下顎総義歯の吸着のテクニクは術者が口腔内に触れる機会をでき

るだけ減らすことで患者さんの口腔内スペースにマッチした義歯を完成させ、顎堤に吸着させようと工夫しました。是非お試しください。

参考文献

- 1)阿部二郎: 総義歯の臨床(下顎総義歯を吸着させるために), 日本歯科評論, 159 - 174, vol.679, 125 - 139, vol.680, 141 - 157, vol.681, 1999.
- 2)深水皓三, 堤 嵩詞: 目で見えるコンプリートデンチャー, 歯科技工, 88 - 101, 1994.